

# 四日市市幼児教育センター

令和7年1月



## センターだより



### 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

令和7年、年が明け、今年度も残すところ3カ月となりました。各就学前施設においては、それぞれのこどもたちの姿を見直しながら、丁寧に学年の最終におけ、教育・保育の充実に取り組み、お忙しい日々をお送りのことと思います。インフルエンザが猛威を振るっている昨今、予防を励行し健康維持に共に努めていきたいですね。



さて、1月16日に当センターにおいて、四日市市幼児教育・保育研究協議会が行われました。席上、昨年度作成した「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」の「活用版」の作成検討が行われました。

**決定!!「四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版」3月末発行予定**

#### カリキュラム活用版ポイント解説

##### ポイント1

保育者の皆さん一人一冊、すぐに、活用できるように!!

##### ポイント2

手元で扱いやすい、  
サイズ A5版

##### ポイント3

写真を多数掲載、オールカラーで、見やすくなっています



日々の実践に取り組み、教育・保育の振り返りに活用



クラス担任同士で活用、職員全員で園内研修に活用



写真や文章を見ながら、「自園ではどうかなあ」と考えてみよう...



当センター研修に持参し、他園職員と交流に活用

## 新刊紹介

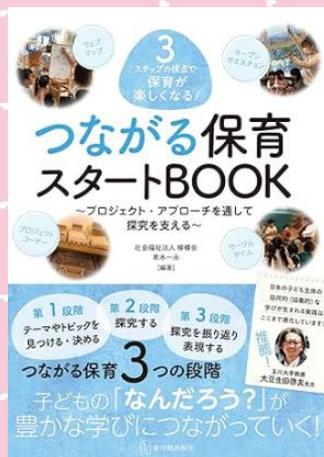
令和7年度の教育・保育施設職員研修に決定した講師の先生の書籍やぜひ手に取ってほしい本を紹介します。



著者 大阪教育大学教授 小崎恭弘  
総合法令出版

「気になる子どもの未来は、今の段階では誰にもわかりません。それは全ての子どもに言えることです。つまり、無限の可能性があるということです。その可能性を信じながら、お母さんもその成長を実感して、自身も親として人としての成長を感じてほしいのです。それが子どもを育てるといふ、本当の意味ではないでしょうか。」

本書あとがきより



編著者 社会福祉法人 檸檬会、青木 一永  
東洋館出版社

「保育者には様々なことが求められています。資質・能力、非認知能力(社会情動的スキル)、幼児教育の終わりまでに育ってほしい姿、保幼小接続、SDGs や ESD.どれも大切と理解しつつも、やるべきことを示した教科書がないのに……

『プロジェクト・アプローチ』という表現が前述のようにまだまだ誤解を生む表現であるように感じます。私たち社会福祉法人檸檬会でも、「こども初めつながる保育」と表現しています。」

本書はじめにより



著者 川岡 京子  
ミネルヴァ書房

「育ちの初期段階で「描く」ことを通して子どもの内面で育まれる物とは何でしょうか?本書では、大人との関係の中で子どもの描画活動を充実させる実践をしてきた著者が、詳細なエピソード記述からその過程を丁寧に読み解きます。」

本書カバーより